

学校だより

27年度 第 9号

No.142

# 桜水だより

平成27年 6月 2日

須賀川市立第一小学校

☎75-2851

## 須賀川一小校舎 7月末に完成

新聞報道にありましたように、7月末に大黒町新校舎が完成し、8月中に引っ越し作業となりました。新体育館も完成しており、8月から使用できるよう協議しています。

ただし校庭のおよそ南半分の工事や駐車場の舗装工事は引き続き続けられるようです。

また、工事の手順の関係からプールはこの夏に間に合いません。昨年同様、マイティや牡丹台、一中のプールでの水泳学習を行います。

それでも、念願の2学期からの新校舎使用はとてうれしいことです。明るく、広々としていて施設も充実しています。楽しみな2学期からの学習となります。

今後、担当部署と引っ越しなどの打合せを進めていきます。現在、引っ越し日程をお盆前後として調整しています。今後「物品移動の日」や「物品整理の日」などに分けし細かな計画を立てていきます。

保護者の皆様のご協力をぜひお願いいたします。

## たっぷりの時間と体験



3年生が22日に自然体験活動をしてきました。昨年までの会津自然の家(坂下町)に替えて、郡山自然の家で実施しました。

坂下町の日帰りですと、午前と午後に1時間ずつの活動時間しかとれませんでした。時間に制約があり、期待している1つである、自然の中での、とまどいによる集団での協力、助け合いの経験をわざわざ提供できませんでした。

今年度は、約40分で郡山自然の家に着きました。午前中、フィールドワークを実施しました。班ごとに、目印を頼りに野山を歩き、ポイントを見つけるという活動です。

最終のチェックポイントを浄土松山、きのこ岩付近の八畳座敷と呼ばれる場所としました。ここで、すべての班の通過を確認しました。

ここからは尾根伝いに進み、南に下りればゴール。目印を見失い北に下りてしまっても、「自然の家北入口」の表示のある浄土松公園の駐車場に出るだけのことで、事故の心配はありません。

2つの班が迷いました。北に下り始め、誤りに気づいたものの、班がばらばらになってしまいました。ともかく尾根に戻ることにして登っていたとき、校長と出会いました。ばらばらになった班員の居場所を聞いた子どもたちは、ほっとした表情をうかべました。道に迷い、友だちともばらばらになった子どもたちは、何を思い何を考えたものか。学んだことは、多かったです。

これだけ予定外の時間を費やしながら、予定したすべての活動を実施し、予定通りの時刻に帰校しました。郡山に切り替えたことで、たっぷりの時間のゆとりがあったからです。自然体験活動へのご理解にお礼申しあげます。